

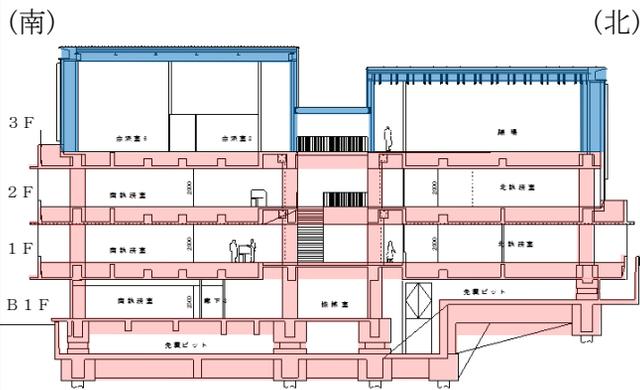
石岡市新庁舎建設工事
平成30年10月 完成予定

【進捗状況 No. 08】

平成30年6月27日現在

- 屋根の鉄骨建方工事
- B1F、1Fの内装工事

現在、屋根の鉄骨工事を行っています。
同時にB1F及び1Fでは、天井内の配管・配線工事や間仕切り壁などの内装工事が行われています。



【作業状況】

3F床までのコンクリート打設工事（赤色）が完了し、屋根の鉄骨工事（青色）が始まりました。



【鉄骨建方】

鉄骨を組み立てることを鉄骨建方（たてかた）といいます。現在、屋根部分の鉄骨建方が進められており、工場で製作された鉄骨を現場で組み上げていきます。



【B1Fの様子】

現在、B1F及び1Fの建物内部では、天井・壁・OA床内の配管・配線工事や、間仕切り、ボード貼りなどの各種内装工事が進められています。



【全景（平成30年6月27日）】

<内装工事・設備工事>

現在、B1F～1Fの内装工事および設備工事が進められています。



【間仕切り壁】（写真：B1F職員食堂）

間仕切りは、軽量鉄骨で壁の下地を組み、両側から石膏ボードを貼り付けます。

部屋の用途によって、断熱性、耐火性、遮音性などに優れた壁に仕上げていきます。

写真では、ボードを貼る前の壁の中に、照明等のスイッチやコンセントボックスが設置されているのが分かります。



【OA床】（写真：1F執務室）

執務室の床部分は、逆梁構造を利用し、電気やネットワークの配線をするための空間が設けられたOA床（二重床）になっています。

現在、空調用ダクトが配管されていますが、この上に鋼製床を設置し、タイルカーペットで執務室の床を設えます。



【天井内の配管工事】（写真：B1F守衛室）

B1Fでは、天井内に電気の配線や空調用の配管など、様々な配管が設置されています。



【断熱材】（写真：B1F守衛室）

外壁に面した壁には、断熱材の吹付けが行われています。



【ガラス窓】（写真：B1F外壁付近）

B1F及び1Fの一部に、ガラス窓が設置されました。